

特殊詐欺被害防止広報用新名称について

令和4年(2022年)4月1日
 警察本部生活安全部生活安全企画課
 原 安志(課長) 柏崎 延幸(担当)
 電話:026-233-0110(代表) 内線3051
 FAX:026-223-0108
 E-mail police-seikatsuanzenkikaku@pref.nagano.lg.jp

新名称 **電話でお金詐欺(特殊詐欺)**

改名経緯

「特殊詐欺」の総称名については、県民による認知度は高いが、名称そのものからは、具体的な啓発につながりにくいため、現在使用している「特殊詐欺」に代わる啓発効果の高い名称について部内から募集し新名称を決定したものの。

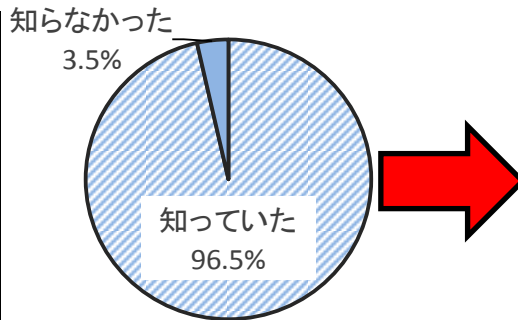
令和3年特殊詐欺被害者アンケート結果

特殊詐欺の意識調査結果

※被害に遭った155人中回答を得た113人の回答結果

○ 特殊詐欺を知っているか？

項目	人数
知っていた	109
知らなかった	4
無回答	0
合計	113



○ 手口を知っているか？

手口	認知度
架空料金請求詐欺 (サポート費用)	3.7%
架空料金請求詐欺 (有料サイト利用料金)	30.5%
交際あっせん詐欺	9.2%
ギャンブル詐欺	11.0%
預貯金詐欺	29.4%
キャッシュカード詐欺盗	33.9%
還付金詐欺	70.6%
オレオレ詐欺	98.2%

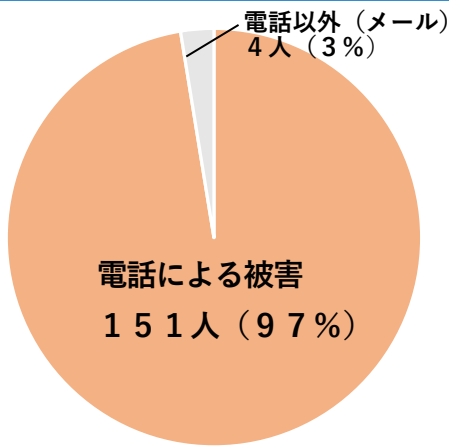
認知度は約3割以下

特殊詐欺を知っていると答えた被害者は96.5%と大多数が知っていると答えたのに対し、手口に関する認知度の調査では、オレオレ詐欺、還付金詐欺の認知度は高いがそのほかの手口はほぼ知らないまま被害に遭っている状況。

特殊詐欺は知っているが手口は知らない

※現在の手口「オレオレ」→「息子の実名」の認知度はこれよりも低いと思われる。

電話を連絡手段とした被害



電話による被害	計
(内訳) 犯人から被害者へ電話	119人
被害者から犯人へ電話	32人
電話以外(メール)	計 4人

令和3年中の被害状況では、155人中151人(97.4%)が電話を連絡手段として被害に遭っている状況。

犯人→被害者76.8%

被害者→犯人20.6%

97%は電話を連絡手段とした被害

いずれの場合も金銭等の要求

令和3年中の交付要求形態 (被害者155人)

- 現金要求 73件
- キャッシュカードを要求 . . . 64件
- 電子マネーを要求 18件

必ず「お金」に関連